

省エネルギー計算（ポイント法）【平成 22 年版】

新機能ご紹介

『省エネルギー計算（ポイント法）【平成 22 年版】』では、平成 22 年 4 月 1 日以降に必要となる省エネ法および関係政令・省令・告示への対応の他、問題の修正、機能追加を行っております。

計算方法・出力様式は、(財)建築環境・省エネルギー機構(以下 IBEC)発行の以下の書籍に準拠しています。

- 「建築物の省エネルギー基準と計算の手引 新築・増改築の仕様基準(ポイント法) 平成 21 年省エネ基準対応」
- 「建築物の省エネルギー基準と計算の手引 新築・増改築の仕様基準(簡易なポイント法) 平成 21 年省エネ基準対応」

【ご注意】

- ・ 旧バージョンにて作成された物件ファイルを開くと、新バージョンの計算内容で自動的に再計算します。再計算前と、計算結果が変わる可能性があります。
- ・ 「平成 22 年版」にて保存した物件ファイルは、旧バージョンでは開くことはできません。
- ・ ここに挙げた項目以外にも、細かな変更、バグの修正等を行っております。

目 次

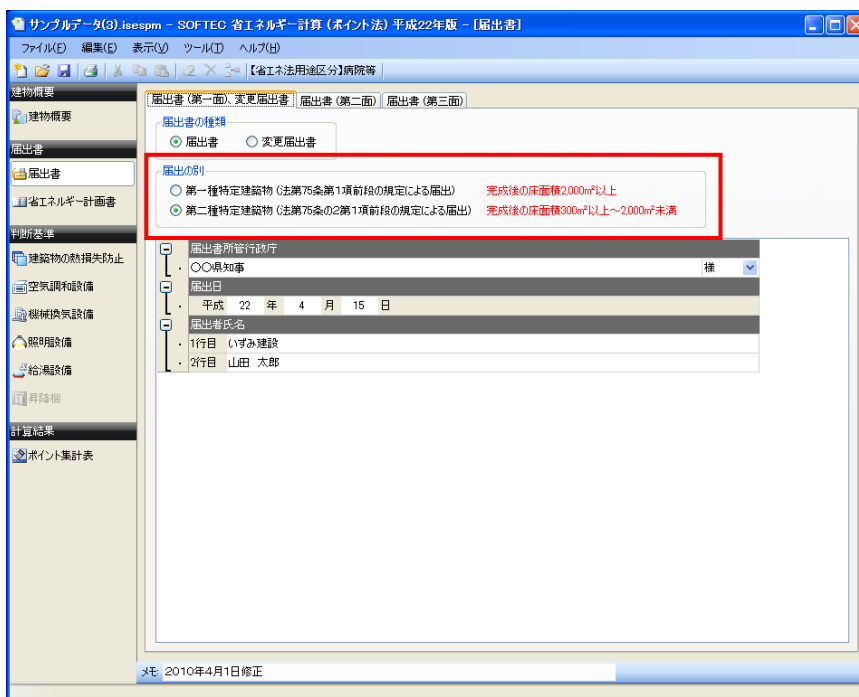
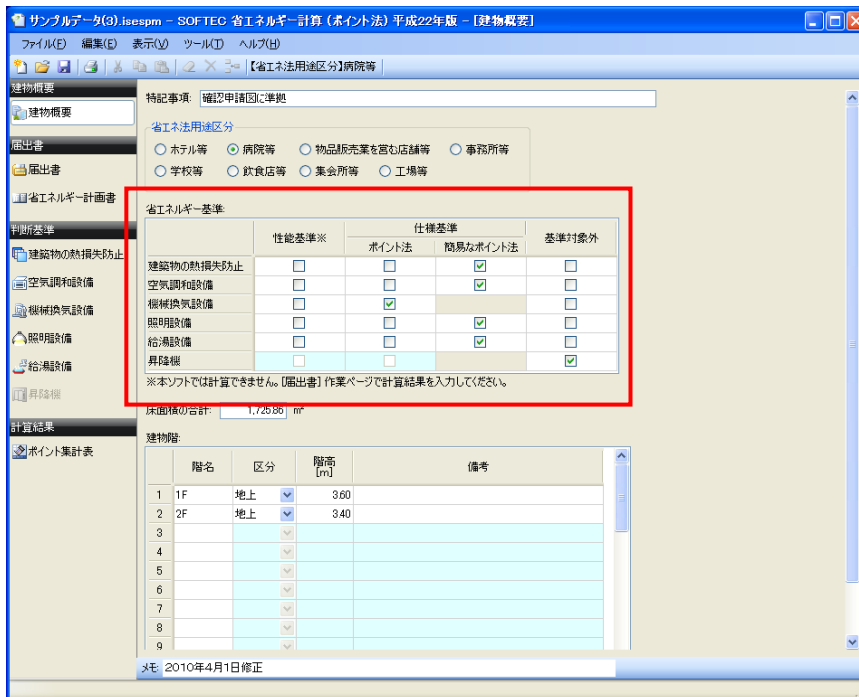
1. 簡易なポイント法に対応.....	2
2. メイン画面	3
3. ガラス種類の追加.....	3
4. 届出書第三面に判断の基準値を表示する機能	4
5. 冷媒配管サイズアップの採用に対応(ポイント法 空調 室外機の設置場所及び配管長さ)	4
6. 旧バージョン物件ファイルのコンバート機能	5

1. 簡易なポイント法に対応

- 平成 22 年 4 月以降、新たに 300 m²以上 2,000 m²未満の建物(第二種特定建築物)が省エネ法の届出対象となりました。上記範囲を対象とした非住宅の仕様基準(簡易なポイント法)による計算、届出書作成に対応しました。

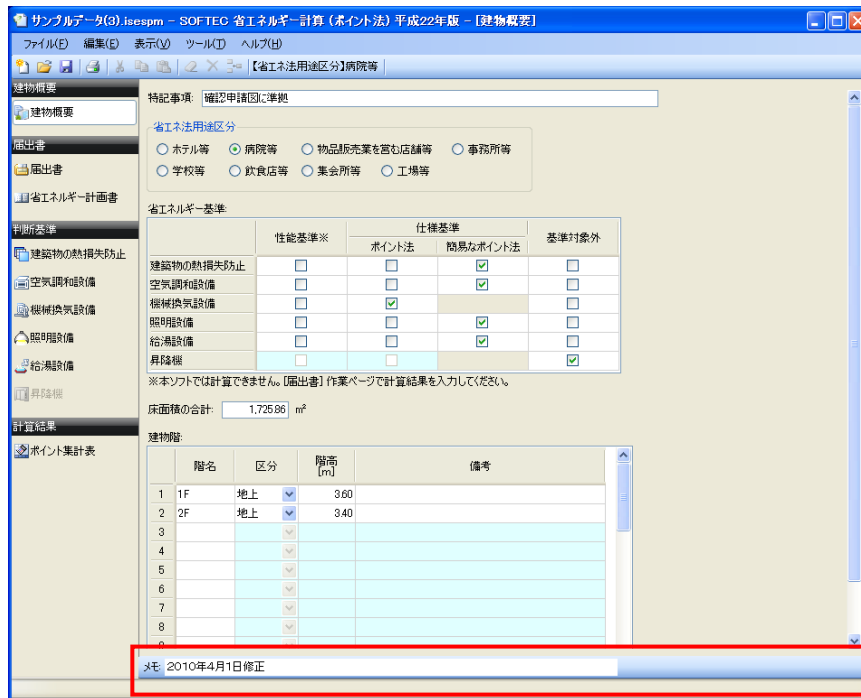
簡易なポイント法に関して、以下の入力画面を追加しました。

- ・ 建築物の熱損失防止(地域と評価階、外壁面積、窓面積)
- ・ 空気調和設備(地域、外気負荷の軽減、熱源機器(室外機)の効率)
- ・ 照明設備
- ・ 給湯設備



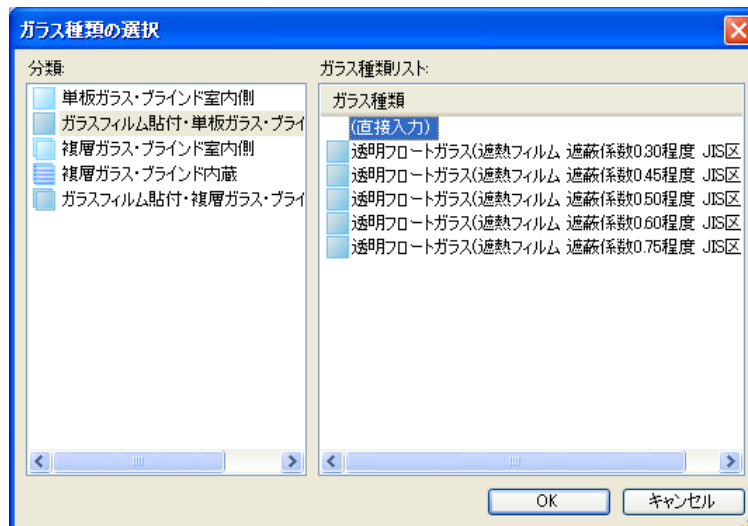
2. メイン画面

- 処理中の物件ファイルに自由なコメントを入力できる機能を追加しました。
メイン画面下部に入力欄が追加されています。



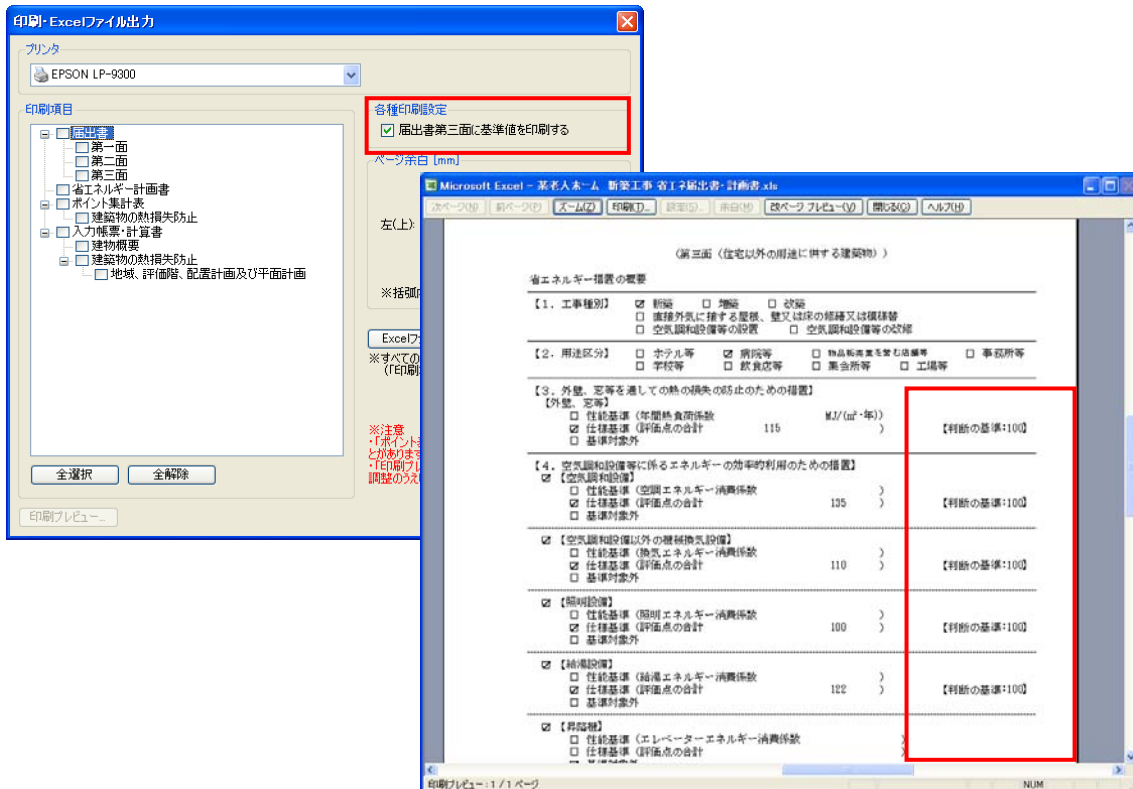
3. ガラス種類の追加

- 「窓の編集」画面で選択するガラス種類に、フィルム貼付ガラスを追加しました。



4. 届出書第三面に判断の基準値を表示する機能

- 届出書第三面に判断の基準値を表示する機能を追加しました。



5. 冷媒配管サイズアップの採用に対応(ポイント法 空調 室外機の設置場所及び配管長さ)

- 冷媒配管サイズアップの採用に対応しました。
- ※採用している場合は、「規定値」が1割増になります。

サンプルデータ(1).isespm - SOFTEC 省エネルギー計算 (ポイント法) 平成22年版 - [空気調和設備]

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) ツール(T) ヘルプ(H)

【省エネ法用途区分】ホテル等 【ポイントの算定方法】ポイント法

建物概要

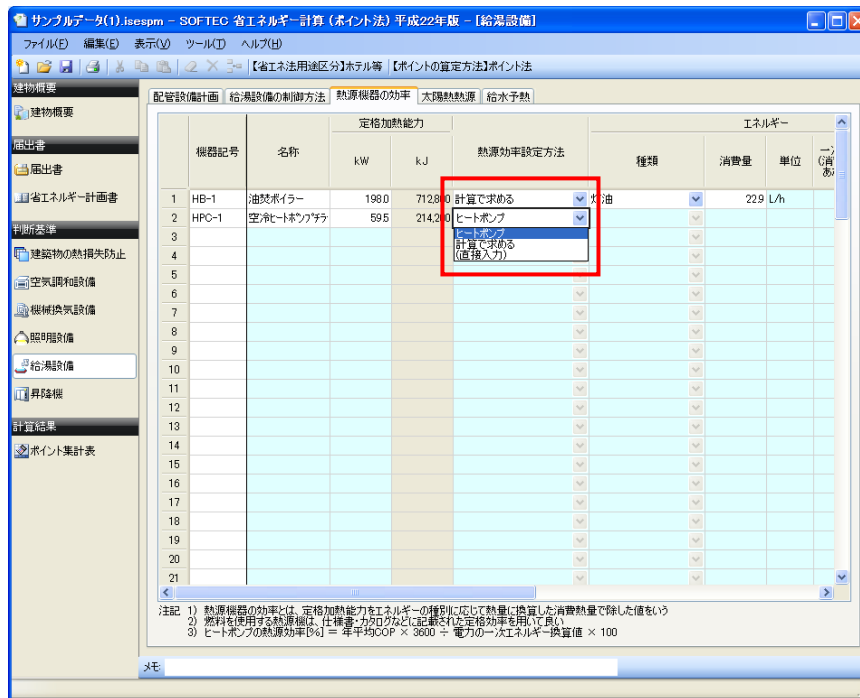
地域 外気負荷の軽減 室外機の設置場所及び配管長さ 熱源機器の効率

室外機 記号	室外機 位置	高低差 [m]	配管長さ [m]	冷媒配管 サイズアップ の採用	系統数	冷房能力 × 系統数	算出値 × 系統数	規定値 [m]	冷房能力 × 規定値 × 系統数	
1 AC-1	低い		19.3	○	1	28.0	19.3	540.40	38.5	1,078.00
2 AC-2	低い	3.0	19.9		1	14.0	14.9	208.60	30.0	420.00
3 AC-3	低い	3.0	19.5	○	1	14.0	20.5	287.00	33.0	462.00
4 AC-4(バルコ)	低い	1.8	19.8		8	80.0	19.4	1,552.00	30.0	2,400.00
5 AC-4(屋外)	低い	1.8	19.9		8	80.0	19.5	1,550.00	30.0	2,400.00
6 AC-5	低い	3.0	19.9		1	7.1	19.9	141.29	30.0	213.00
7 AC-6	低い	3.0	19.5	○	1	5.0	13.5	67.50	33.0	165.00
8 AC-7	低い	3.0	19.7		1	4.0	12.7	50.80	30.0	120.00
9 AC-8(男子)	低い	3.0	19.0		1	3.6	15.0	54.00	30.0	108.00
10 AC-8(女子)	低い	3.0	19.3		1	3.6	20.3	73.08	30.0	108.00
11 AC-9	低い	3.0	19.0		1	7.1	10.0	71.00	30.0	213.00
12										
13										
14										
15										
16										
17										
合計						246.4		4,605.67		7,687.00
							加重平均	18.69	加重平均	31.20

注記 1) 系統数は、機器仕様および配管長さが同一の系統数とする。
 2) 室外機、室内機の設置場所が同じ高さの場合は、室外機位置が室内機よりも高い場合に含まれる。
 3) マルチ型・トリプル型等室外機1台に複数の機器統合が接続されるパッケージで室内機は同時運転するものは、機器の構造上「マルチ型以外」の基準とする。
 4) 算出値
 ・マルチ型の場合、算出値 = 配管長さ
 ・マルチ型以外で室外機が室内機より高い場合、算出値 = 高低差 + 配管長さ
 ・マルチ型以外で室外機が室内機より低い場合、算出値 = 高低差 × 2 + 配管長さ

6. 旧バージョン物件ファイルのコンバート機能

- 画面「給湯設備 - 熱源機器の効率」の「熱源効率設定方法」で、「自然冷媒 CO2 ヒートポンプ」を選択していた場合は、「(直接入力)」にコンバートされ、「熱源効率」は「90.00」になります。



※旧バージョンの物件ファイルを開く前には、念のためバックアップをお取り頂くことをおすすめします。

※コンバート後に保存した物件ファイルは、旧バージョンでは開くことはできません。

以上